

『**く が に 森**』

本校教育の指針：子ども一人一人を大切にし、よさや可能性を伸ばす教育の推進

宜野湾市立大謝名小学校
令和元年 10月 18日(金)
10月-1号 児童数：563名
TEL：897-2100

【令和初めての運動会】

「**最高の絆で 一致団結 令和初の勝利をつかめ**
はばたけスーパー大謝名っ子」の児童会テーマのもと、子どもと職員が一体となって運動会練習に取り組んできました。

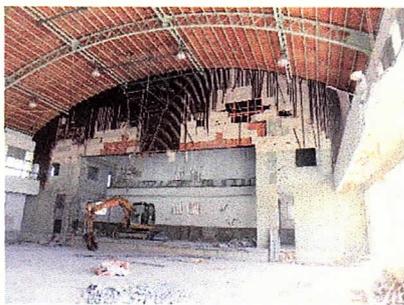
来る日曜日は、子ども達のひたむきな姿に、温かな拍手と声援を送っていただきたく、多くの保護者・地域の皆様のご来場を心からお待ちしております。

今回は、体育館等の解体工事に伴い、狭い運動場の開催となりました。併せて、仮囲いで囲われているものの、立ち入ると危険な工事現場を有する環境であることから、学年1演技にプログラムを縮小しての午前中のみ(昼食なし)の運動会といたしました。

各学年1演技とはいえ、幼稚園児から6学年まで発達の段階を踏まえ、工夫を凝らした演技内容となっています。子ども達は、演技に集中し、楽しくも全力で取り組んでいます。ご期待ください!



また、今年も南建工業様から砂を提供いただいた上、従業員の方々のお力添えもあり、雨水で露出した運動場表面の小石等を覆い、子ども達は、安心して演技を披露することができます。本当にありがたく感謝・感謝です。



【体育館解体工事→】

【前代未聞…】

先日から「**あり得ない、前代未聞**」といった言葉で形容される他県公立小学校における**同僚 教師によるいじめ・ハラスメント、教員間暴力等**の一連報道に、保護者・地域の皆様には教育に対し、そして私たち教師に対しご心配をおかけしていることと存じます。

また、昨日・今朝の報道からは「**いじめ・不登校等の増加・最多**」がさらに、不安感を募らせているのではないのでしょうか。

本校では、「いじめに対する基本的な考え方」として、全職員で

いじめを「どの子にも、どの学級にも起こりうる」「だれもが被害者にも加害者にもなりうる」と考えることを基本とする。日常生活で把握した事柄は、軽微に捉えず将来深刻ないじめになる可能性がある。一見、じゃれあいに見えるところから、気付かないうちにいじめに発展してしまう場合がほとんどである。この程度ならたいしたことはないと考えず、児童の変化を見逃さないことが重要である。

いじめ問題に迅速かつ組織的に対応するために、いじめに対する認識を全職員で共有する。そして、いじめはどの学校・どの学級でも起こりうるものという基本認識に立ち、学校内外を問わずすべての児童を対象に、いじめに向かわせないための未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。

ことを、強く共通認識し、取り組んでおります。

今回の事案を自分事として受け止めた上で、子ども達への、そして、保護者の皆様への宣言として、以下を記します。

私たち大謝名小学校の先生方の間には、「いじめ」はありません。

皆さんに対して、『いじめはいけない、許さない』と話し、指導している私です。

そういう私は、他の先生方に支えられ、皆さんとの学びと生活を築いています。

悩みがあるときは、周りの先生方が相談にのってくれます、困っている時は、手を貸してくれます。

大謝名小学校は、やりがいのある職場です。

だから、皆さん、安心してください。私、そして、大謝名小学校の先生方は、皆さんの間にも、そして大人の間にも絶対に「いじめ」を許しません。

では、どうして、今回のニュースなどで見る大人の、しかも、先生達によるいじめ=犯罪が起きたのでしょうか。

人としての成長が足りなかったのでしょうか。思いやる心や誰もが幸せになる権利を持っているということを忘れてしまったのでしょうか。

はっきりしていることは、人をいじめ、踏みにじる行いに、どんな理由も通用しない・許されないということです。

あらためて、子どもも大人も一緒になって「いじめ」を許さない学校、社会を創っていきましょう。